



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



Vol.33
2023年1月号

News
Letter



おおきに健康

歯とお口から

大阪大学歯学部附属病院 広報誌

内面

- 特集
第19回市民フォーラム開催
- 病院からのお知らせ

お口の相談コーナー
お口のマメ知識

裏面

- 2022年10～12月の統計情報
- 病院概要



副病院長 丹羽 均

皆様、新年あけましておめでとうございます。2023年がスタートしました。今年も大阪大学歯学部附属病院は、患者様の口健康を守るため最大限の努力をしております。よろしくお願いいたします。

さて、年初から、新型コロナウイルスの感染拡大の「第8波」に加えて、季節性インフルエンザが流行し、いわゆる新型コロナ・インフル同時流行により多数の発熱患者が生じ、医療機関のひっ迫の可能性が懸念されています。その背景には、世界の多くの国で水際対策など行動制限を緩和する動きがみられ、国際的な人の移動が大きく増えてきていることがあります。日本でも、入国者数の上限が撤廃され、観光地では多くの海外からの旅行者を目にするようになりました。また、繁華街も賑わいを取り戻し、皆さんの多くがコロナ前に近い形で、この年末年始を過ごされたことと存じます。

このような状況下ではありますが、歯学部附属病院では引き続き徹底した感染対策を実行しております。診療時の万全な感染対策に加え、本院の医療従事者の多くが4回以上のコロナワクチンとインフルエンザワクチンの接種をすでに受けております。院内感染には十分な注意を払っておりますので、「お口の調子が変わる」と感じた場合には、ためらうことなく、安心して本院を受診してください。



特集 第19回市民フォーラム「よく噛み、よく食べ、よく眠ろう 歯科医が健康のヒミツ教えます」を開催しました。

令和4年11月26日(土)に、大阪大学大学院歯学研究科及び歯学部附属病院主催、大阪大学歯学部同窓会及び大阪大学歯学会共催で、「よく噛み、よく食べ、よく眠ろう」をテーマとした市民フォーラムを開催しました。

本フォーラムは、最新の歯科治療および歯科医学について、一般市民を対象に健康増進と歯学知識の向上を目的として毎年開催しているもので、対面での開催は3年ぶりとなりました。当日は約100名の参加者を迎え、今里聡研究科長による挨拶から始まり、5名の講師(大阪大学大学院歯学研究科教員4名、大阪大学歯学部同窓会1名)により、「噛む」「食べる」「眠る」の3つのテーマに沿った講演が行われました。

講演後の総合討論では、参加者からの質問に対し、司会の十河基文教授と講師との質疑応答も活発に行われ、林美加子病院長の閉会挨拶の後、本フォーラムは盛況のうちに終了しました。



今里研究科長による開会の挨拶



司会の十河教授



総合討論の様子



林病院長による閉会の挨拶

講師のコメント

小児歯科学教室 大継 将寿

今回、「人生100年時代に考える子どもの健口」と題しまして、現代の子どもたちのお口の健康について、小児歯科を専門とする立場からお話させていただきました。子どものむし歯は減少傾向にありますが、一部の子どもが多数のむし歯を有しているのが現状です。また、生涯にわたるお口の健康を維持するためには、口腔衛生管理と同時に口腔機能管理も重要であることをお話させていただきました。今回の講演が少しでも皆さんのお役に立てば、幸いです。

口腔治療学教室 藤原 千春

講演では、「意外と簡単！ 歯科医師が語る歯を守る秘訣」の題目で、歯周病とはどのような病気なのか？について説明し、歯周病から歯を守るための秘訣をご紹介しました。歯を守る秘訣は意外と簡単で①1日1回十分に時間をかけて歯を磨く②歯科定期検診を受ける③よく噛み、よく食べる、の3つです。講演を聞きそびれた方も、是非、この歯を守る秘訣を実践して、ご自分の歯を守り、お口の健康の維持・増進を目指してください。

歯科補綴学第二教室 助教 高阪 貴之

本フォーラムでは、「よく噛む」のは何のため？—咀嚼と全身との関わり—と題しまして、「噛む」こと、つまり咀嚼によるさまざまな効果だけでなく、咀嚼の評価の仕方についていくつかの方法をご紹介させていただきました。

また、咀嚼と全身の健康との関わりとして、メタリックシンドロームなどの生活習慣病や、認知症に焦点を当ててお話させていただきました。「よく噛む」ことで、皆様のより健康で充実した生活へつなげていただけますと幸いです。

口腔生理学教室 加藤 隆史

「健やかな眠りにまつわる口の話」というタイトルで、お話しさせていただきました。睡眠に入ると、体中の筋肉が緩みます。口や喉の筋肉が緩むと、気道が狭くなりいびきが生じます。また、睡眠中に緩んだ顎の筋肉が、突然緊張して、大きな力を出すのが歯ぎしりです。いびきは、口に装具をつけて改善できますが、歯ぎしりを止める方法はありません。このように眠りと歯科には、不思議な関係があることを知っていただければ幸いです。

ささお歯科クリニック 佐々生 康宏

地域で活動する開業医の立場から、「食べる治療、眠る治療」の実際の現場を、映像でご覧いただきながらお話しさせていただきました。脳卒中の誤嚥性肺炎から摂食嚥下機能を回復した患者さん、睡眠時無呼吸をマウスピース治療で改善した患者さん、いずれも歯科で治療することが可能です。食べて、しゃべって、眠って、笑って…、口の機能がしっかり動くように、「健口」から全身の「健康」を作っていきましょう。

入院アメニティセットのレンタルサービスはじめました

患者さんからご意見を頂戴し、患者さん等へのサービス向上、負担軽減に向けて検討を重ね、この度、令和5年1月1日から「病衣・タオル・紙おむつ・日用品」等のレンタルサービスを開始する運びとなりました。

申込みされた患者様は、常に清潔な「病衣・タオル等のレンタル品」、「紙おむつ」が必要な時に必要なだけ、ご使用いただくことが可能となります。入院アメニティセットのご利用の申込みは10番窓口まで。ぜひ、ご利用ください。

サービス提供者
株式会社アメニティ
TEL:0120-918-859

お口の相談コーナー

「けがで歯が抜け落ちてしまいました。元に戻せますか…」

保存科 朝日 陽子

転倒や事故などのけがで歯が抜け落ちてしまった場合、その歯を元の位置に戻せることがあります(再植といいます)。この際に大切なことは、抜け落ちた歯を乾燥させないこと、歯の根の表面を傷つけないこと、できるだけ早く歯科医院を受診することです。

歯の根の表面には歯根膜という軟らかい組織があり、歯と歯を支える骨をつないでいます。抜け落ちた歯の歯根膜の状態は、再植の成功に大きく影響します。歯根膜の保存状態が良いと再植後に歯根膜が再生し、歯を保存できる確率が高くなります。一方、歯根膜がダメージを受けて

いると再植後に歯の根が吸収してしまうことがあります。

抜け落ちた歯は乾燥しないように、保存液に入れて持参してください。学校などでは専用の歯の保存液を備えている場合もあります。専用の保存液がない場合には、牛乳や生理食塩水でも代用できます。これらもない場合は、お口の中(唇と歯ぐきの間や舌の下)に入れて保存しても大丈夫ですが、お子様の場合には飲み込まないように気をつけてください。ティッシュなどに大事に包んで持って来られることがあります。歯根膜は乾燥に弱いので湿った状態を維持することが重要です。

専用の歯の保存液

お口のマメ知識

「口腔機能低下症について知っていますか？」

咀嚼補綴科 八田 昂大

口腔機能低下症という病気はご存じでしょうか？口腔機能低下症とは、加齢だけでなく疾患や傷害などの様々な要因により口腔の「感覚」「咀嚼」「嚥下」「唾液分泌」等の機能が低下している疾患です。口腔機能低下は、最初は軽微な症状からはじまりますが、放置するとものを食べられなくなったり、飲み込めなくなったりと重篤な状態に発展します。

口腔機能低下が起こると、食べやすいものばかり食べるようになり、栄養の偏りが生じます。その結果、筋量や筋力が減少し、それに伴い代謝も低下します。筋力が落ちると運動機能が低下し、さらに代謝が低下

し、栄養が不足していくといった悪循環が生じ、全身にも悪影響を及ぼすと考えられています。実際に、口腔機能が複合的に低下した人は、低下していない人と比較して、フレイル、サルコペニア、要介護状態、死亡へのリスクがそれぞれ2倍以上高いという研究結果が報告されています。

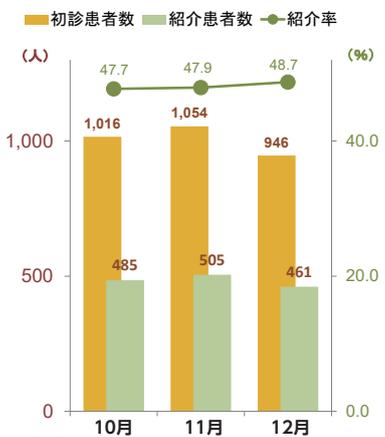
咀嚼補綴科では、お口の乾燥状態、衛生状態、かむ力、舌や唇の運動機能、舌の力、かみ砕く機能、飲み込む機能の7つの項目の検査から、「口腔機能低下症」の診断を行い、検査結果の説明やその後の指導を行っています。口腔機能低下症では、口腔機能の低下を早期に自覚し、対

10月～12月患者数等統計

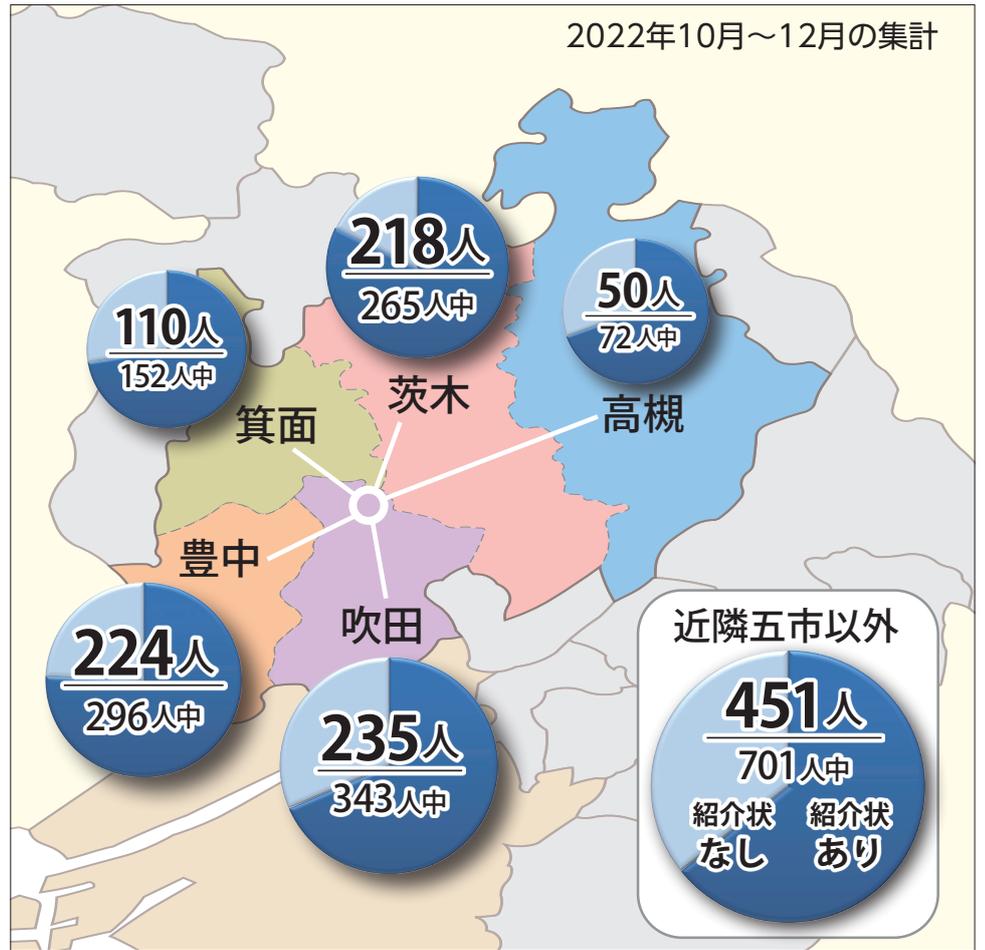
外来患者数・入院患者数



初診患者数と紹介患者数比率



近隣五市の新来患者に占める紹介状持参患者数



病院概要

診療日：月～金 休診日：土日祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

受付時間：【初診受付】8時30分～11時30分（初めて受診の方、紹介無し可）
【再診受付】8時30分～15時00分（原則として全科予約制）

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

電話番号：（代表）06-6879-5111（時間外）06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

診療内容

口腔衛生指導、虫歯治療、歯周病治療、歯周再生治療、差し歯、入れ歯、インプラント治療、口腔癌治療、口唇口蓋裂治療、障害者歯科治療、摂食・嚥下、スピーチ治療、スポーツ歯科、口臭外来、ドライマウス外来、睡眠時無呼吸、歯の外傷治療等



電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかることがありますので、ご承知ください。

夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめお電話（06-6879-2848）のうえ、お越しください。

入院患者様へのご面会は新型コロナウイルス感染対策の観点から当分の間、原則禁止とさせていただきます。

病院へのアクセス



歯学部附属病院にお車でお越しの際は、西門（歯学部部門）よりお越しください。

看護師・歯科衛生士募集中！

—お問合せ—

歯学研究科総務課人事係
06-6879-2834 まで